

## 学術委員会

委員長：大慈弥裕之

委員：秋田 定伯、磯貝 典孝、稲川 喜一、井上要二郎、岡崎 睦、  
小川 令、光嶋 勲、櫻井 裕之、柴田 実、菅原 康志、  
関堂 充、高木 誠司、武田 啓、館 正弘、田中 嘉雄、  
鳥山 和宏、永竿 智久、西本 聡、橋川 和信、杠 俊介、  
横田 和典

開催年月日：①平成23年4月13日

②平成23年10月7日

メール委員会随時

主な議題：1. 平成23年度春季学術講習会の件  
2. 平成23年度秋期学術講習会の件  
3. 平成23年度学術奨励賞

活動の概要：1. 平成23年4月12日(火)ホテルクレメント徳島において平成23年春期学術講習会を「難治性潰瘍」、「医療安全」のテーマで開催した。参加申し込み238名であったが、うち欠席3名、遅刻1名、参加章未着5名、参加章忘れ1名、当日聴講申込6名であった。遅刻は地震による公共機関運行停止という不可抗力のため、受講証は後日学会事務局から郵送することとした。費用未納(東日本大震災被災地域)が3名いたが、当日全員より納金された。受講証受取をしなかった1名に対しては、後日学会事務局から郵送することとした。

2. 平成23年10月5日(水)ハイアットリージェンシー東京にて平成23年秋期学術講習会を「炎症・変性疾患」、「医療安全」のテーマで開催した。参加申し込み264名、欠席11名、当日聴講申し込みが4名あった。

3. 平成23年度学術奨励賞は今年度より機関誌以外部門のみ公募となり、計24編(基礎部門8編、臨床部門16編)の応募があった。候補論文4編(基礎部門2編、臨床部門2編)と機関誌編集委員会より選定された機関誌部門候補論文4編(基礎部門2編、臨床部門2編)の合わせて8編を理事会に上申し、以下の4編が学術奨励賞に決定した。

《学術奨励賞》

【基礎部門】

小林 眞司 先生 (神奈川県こども医療センター形成外科)

『Reconstruction of human elastic cartilage by a CD44+ CD90+ stem cell in the ear perichondrium』

Proc. Natl. Acad. Sci. USA Vol. 30;108(35):14479-84, 2011

吉龍 澄子 先生 (国立病院機構大阪医療センター形成外科)

『ヒト真皮線維芽細胞の分化能評価』

日形会誌 vol. 31(pp453-461), 2011

## 【臨床部門】

坂本 好昭 先生 (慶応義塾大学形成外科)

『Dynamic total skull remodeling by a combination of morcellation craniotomy with distraction osteogenesis: the MoD procedure』  
J Craniofac Surg. 22(4):1240-6, 2011

三鍋 俊春 先生 (埼玉医科大学総合医療センター形成外科)

『Latissimus dorsi flaps orbital on the lateral intercostal artery perforators: Anatomical study and application in autologous breast reconstruction』  
JPSHS vol. 31 (pp58-65), 2011

## ガイドライン作成部会

部会長: 小林誠一郎

出席者: 秋元 正宇、清川 兼輔、清澤 智晴、楠本 健司、小林誠一郎、  
寺師 浩人、仲沢 弘明、天方 将人、江口 智明、緒方 寿夫

欠席者: 菅原 康志、柴田 実

開催年月日: 平成 23 年 4 月 13 日(水) 12 時~13 時 15 分

(第 54 回形成外科学会総会開催時)

- 主な議題: 1. ガイドライン作成の進捗状況について報告  
2. ガイドライン作成の手引き改訂について  
3. ガイドラインの委員会吟味の問題点と改善案について  
4. 作成ガイドライン監修等の責任表示について  
5. 眼窩底骨折ガイドラインの検討  
6. 乳房再建ガイドラインの検討

部会長: 清川 兼輔

委員: 秋田 定伯、大城 貴史、柏 克彦、菊池 雄二、清澤 智晴、  
関堂 充、寺師 浩人、土佐 泰祥、三鍋 俊春

開催年月日: 平成 23 年 10 月 6 日(木) 7 時 50 分~8 時 50 分

(第 20 回形成外科学会基礎学術集会開催時)

- 主な議題: 1. ガイドライン作成の進捗状況について報告  
2. ガイドライン案への「今後の課題」記載および構造化抄録  
フォーム提出の徹底について  
3. ガイドライン委員による CQ 案の事前吟味  
4. 口蓋裂学会での口唇顎口蓋裂ガイドライン作成の動向について

メール委員会(頻回):

1. 三学会のガイドライン委員会の整理  
各学会ガイドライン委員会および合同ガイドライン委員会の役割の  
明確化、合同ガイドライン委員再編成、ガイドラインが完成するま  
での流れの明確化

2. 委員への案配信および意見徴収、統括責任者への差し戻しおよび修正依頼
3. ガイドライン案のパブリックコメント開始
4. 統括責任者への各種資料提出の徹底等

## 用語部会

部 会 長：柴田 実

委 員：小川 令、 清澤 智晴、久徳 茂雄、永竿 智久、野瀬 謙介、  
力丸 英明

活動の概要：日本医学会用語委員会に日本形成学会用語集ファイルと医学会用語集に統合することを検討しておりましたが前委員長の開原先生が平成22年末に急逝され、その後昨年3月の地震、日本医学会の開催中止検討などのため統合作業は見合わせとなりました。

昨年、平成23年6月頃に日本医学会の医学用語管理委員会新委員長に脊山洋右先生が就任されました。

ようやく、延び延びになっていた日本医学会用語集と形成外科学会と医学用語辞典との整合性のチェック結果を頂き（下段に概略を記載しております）、現在これを分担、検討しており、これが終了次第、再度医学会に統合作業の相談を行う予定となっています。

### 欧文全7,531件の結果

◎：英語と日本語が一致—————3,060件

（医学会辞典に日本語が複数ある場合、その1つと一致しているものを含む）

△：英語は一致するが、日本語は一致しない—————709件

▲：日本語が一致するが、英語は一致しない—————715件

X：英語、日本語ともに医学会辞典にはない—————3,047件